

# 山形県:外国人材の雇用・労務に関するセミナーを開催します

25.05.12

あいおいニッセイ同和損害保険と共催し、外国人材の雇用に詳しい弁護士を講師に、雇用・労務に関するセミナーを開催します！外国人材を雇用されている、外国人材の雇用に興味のある経営者・人事労務担当者向けのセミナーです。



外国人材の雇用精通している杉田弁護士を講師に、雇用・労務の留意点や、トラブル回避のコツなどを分かりやすく解説します。

外国人材から選ばれる企業になりたい皆様、是非ご参加ください。

出典

[https://www.pref.yamagata.jp/020040/seminar\\_exchange/seminar\\_exchange.html#f](https://www.pref.yamagata.jp/020040/seminar_exchange/seminar_exchange.html#f)

# YTS: 酒田の整備工場でベトナム人 2人が『特定技能2号』に合格

25.06.16

山形県酒田市の自動車整備工場で働くベトナム人2人が熟練した技能が求められる難関試験に合格しました。日々奮闘する、2人の思いを取材しました。



酒田市東両羽町の「車検のコバック酒田店」。  
この自動車整備工場で働いているベトナム出身のグエン・スアン・フーンさん34歳。そして、チュー・バン・ドウオックさん29歳です。  
2人は5年前に技能実習生として来日。

フーンさんは2025年3月、ドウオックさんは4月に合格率およそ30%という難関の「自動車整備分野特定技能2号」の試験に合格しました。

# 山形県：在住外国人向け 『やまがた魅力体験バスツアー』第 1弾を実施へ

25.06.23

県内で働く外国人の方々に、本県の魅力を体感いただき国内外へ発信してもらうことで、参加者や母国の方々に山形のファンになってもらい、外国人材の受入拡大を図ることを目的とした「県内在住外国人やまがた魅力体験バスツアー」(令和7年度第1弾)を実施します。



出典

: <https://www.pref.yamagata.jp/020040/20250620.html>

# 「多文化共生が持続可能な日本につながる」 外国人多く雇用の経営者

2025.08.29

山形県村山地域の自治体職員が、人口減少の中で持続可能な社会のあり方について学ぶセミナーが28日、山形市であった。同市のスズキハイテック社長、鈴木一徳さんが講演し、「日本人と外国人が共に支え合う多文化共生社会を築くことが持続可能な日本の未来につながる」と語った。メッキ加工会社の同社は、社員の4割にあたる113人が外国人。様々な在留資格で来日し、会社の急成長に貢献している。



多文化共生社会について講演するスズキハイテックの鈴木一徳社長=2025年8月28日、山形市、斎藤徹撮影 

出典

<https://www.asahi.com/articles/AST8X4R8VT8XUZHB007M.html>

# 「日本の地方部との連携によるアフリカ人材 受入・育成のための情報収集・確認調査」

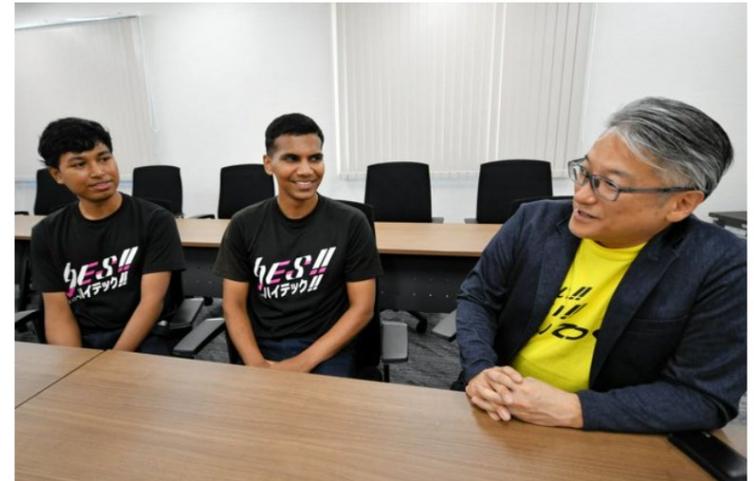
2025.07.04

弊センターが実施中のアフリカ地域（広域）「日本の地方部との連携によるアフリカ人材受入・育成のための情報収集・確認調査」（JICA委託）では、6月13日から2週間、山形県長井市にタンザニアの職業訓練校から研修生を派遣するパイロットプロジェクトを実施しました。その様子が山形県のメディア3局において放送され、各社ウェブサイトにも掲載されています。本調査は、我が国の少子高齢化問題、地方部における労働力不足の中、日本の一部地方部において、この課題解決に向け、アフリカを含む外国との人材交流・受け入れなどの連携を行っている自治体があるという背景の下実施されています。本調査は、特に今後の若年人口の増加や労働人口増加が見込まれ、かつ日本との良好な関係を構築、加えて技能人材育成や若者の雇用創出等の開発課題とも合致するタンザニア及びガーナを対象とし、両国出身の若年層の日本での就業可能性検討や日本の地方との持続的な交流・人材育成に係る持続的な連携可能性の検討を行っています。

# 奇跡の急成長は社員の4割占める外国人 「安い労働力としてでなく」

2025.08.21

外国人を大勢採用して業績を伸ばしている企業が、山形市にある。会社を訪れると、「多文化共生社会」につながるたくさんのヒントがあった。スズキハイテック（山形市銅町）は、メッキ加工を手がける創業111年の老舗だ。自動車や半導体部品、精密機器などの表面処理加工を請け負い、航空宇宙や医療分野にも貢献している。2024年度の売り上げは、約47億円。19年度の約11億円から、5年で4倍に増えた。鈴木一徳社長（54）は「この奇跡的な急成長は、外国人社員がいなければ成し得なかった」と語る。



談笑するスズキハイテックの鈴木一徳社長（右）、社員のマズムダル・ソウラブさん（中央）とイモン・エムディさん=2025年7月30日、山形市銅町2丁目、斎藤徹撮影

出典

<https://www.asahi.com/articles/AST8N4GFKT8NUZHB006M.html>  
[https://www.pref.yamagata.jp/020040/seminar\\_exchange/seminar\\_exchange.html](https://www.pref.yamagata.jp/020040/seminar_exchange/seminar_exchange.html)

# 外国人材採用で業績V字回復・山形市の注目企業

2025.11.03



自動車部品の表面をめっき加工する製造現場では、バングラデシュやネパールなどの出身者が多く働いています。外国出身の従業員は全体の4割にのぼります。外国人従業員「皆さん、気を付け。礼、おはようございます！どうぞよろしくお願ひします！」日本人従業員「はい、よろしくお願ひします」外国人材が、創業110年を超える老舗に活力を与えています。スズキハイテックは1914年に創業し、リヤカーや自転車の部品のめっき加工を手がけました。その後、時代の変化に合わせて音響機器や半導体部品などの受注を拡大し、ピーク時で年間25億円の売り上げがありました。しかし、2008年のリーマンショックなどの影響を受け、10年ほどの間に売り上げがおよそ10億円減少しました。こうした状況の中、2015年に就任した鈴木一徳社長が決断したのは、外国人の採用です。

出典

<https://news.ntv.co.jp/n/ybc/category/society/yb833649b623484f4cb8fe2be6582df7a5>

# やまがたグローバル人材育成プログラムの 日本語教室がスタートしました！

2025.07.12

モガミフーズは今年度4月から、やまがたグローバル人材育成コンソーシアムの会員になりました。コンソーシアムでは行政（山形県）、県内企業（33社）、高等教育機関5校が、一体となって「地域の発展に資するグローバル人材の育成」に取り組んでいます。具体的なプログラムを指す、通称PAGTY（パグティ Program for Advancing Global Talents in Yamagata）では、会員企業で働く外国人従業員の日本語教育支援も行っています。この度PAGTYから日本語講師を派遣いただき、モガミフーズの日本語教室がスタートしました。初回の日本語教室には、日本語講師の他、PAGTY日本語教育部門のコーディネーターおよび「なか東北」地域日本語教育専門人材養成講座の代表者、2名の山形大学関係者にもご出席いただきました。



出典[https://mogamifoods.com/posts/qnUUE7\\_h](https://mogamifoods.com/posts/qnUUE7_h)

# 自動車整備の特定技能2号、ベトナム人2人 合格 県内初、「長く酒田で働きたい」

2025.06.16



山形県酒田市の自動車整備工場で働くベトナム出身のグエン・スアン・フーンさん(34歳)とチュー・バン・ドウオックさん(29歳)が、合格率約30%の難関「自動車整備分野特定技能2号」の試験に合格しました。2人は技能実習生として5年前に来日し、日々の努力が実を結びました。

この資格により在留期間の制限がなくなり、家族の帯同も可能になります。2024年末時点でこの資格を持つ外国人は全国で3人のみで、山形県内では初めてです。2人の働きぶりは職場でも高く評価されており、店長も「店を支える中心的存在」と称賛。人口減少と労働力不足が課題の地域で、今後の活躍が期待されています。2人は「家族のため、酒田で長く暮らしたい」と語り、さらなる努力を誓っています。

出典[https://www.yamagata-np.jp/news/202506/16/kj\\_2025061600400.php](https://www.yamagata-np.jp/news/202506/16/kj_2025061600400.php)

# 山形発の老舗メッキ工場が挑む 攻めの 技術開発と外国人登用で社風改革

2025.07.01

山形駅から車で10分ほどのところに、工房や工場が集まった“ものづくりの街”がある。昔、鋳物職人が集められたことから銅町と呼ばれ、山形鋳物発祥の地とされる。ここに本社を置く創業111年の老舗、メッキによる表面処理を行う「スズキハイテック」は、自動車部品や半導体への特殊メッキで、この数年、売り上げを急速に伸ばしている。一時はリーマンショックなどで業績が落ち込んだが、受注型から開発主導型へと思い切った転換に踏み切り、他社が追随できないメッキ技術を開発して活路を開いた。また、留学生ら外国人材を積極的に活用することで社内の活力を高め、拡大する需要に答えている。工場の新設など、さらなる投資で生産力を上げ、5年後には売り上げ100億円を目指しているが、同時に、メッキ技術を応用発展させた微細構造の開発を進めるなど、次代への準備も怠らない。



110周年のスローガンは「YES!!ハイテック!!」。鈴木一徳社長は「何事にも挑戦し、あきらめないという強い意思を込めた」という。

# 「芋煮食べ 国籍問わず 弾む声」山形 ・白鷹 住民と技能実習生らが交流

2025.11.20

「芋煮いもに」は、里芋さといもやネギなどの野菜やさいと肉にくを煮にて作つくる料理りょうりです。山形やまがたでは、肉にくは牛肉ぎゅうにくを使つかつて、しょうゆで味あじを付つけます。芋いもができる秋あきに、みんなで楽たのしみます。11月がつ16日にち、その料理りょうりを食たべながら交流こうりゅうするイベントが白鷹町しらたかまちでありました。

町まちの会社かいしゃで働はたらく技能ぎのう実習じっしゅう生せいや町まちの人ひとたちなど、65人にんぐらいが参加さんかしました。実習じっしゅう生せいたちは、いくつものテーブルに分わかれて座すわりました。そして、芋煮いもにを食たべながら、みんなで仕事しごとや生活せいかつのことを楽たのしく話はなしました



出典

<https://kahoku.news/easyjapanese/articles/00000000159SP6922fb08e30da.html>

# 山形県の魅力を再発見し異文化への理解を 深める！ 高校で外国人実習生の特別授業

2025.10.08

様々な文化と共生することを学ぶやまがたグローバルイノベータ育成事業の一環できのう山形県鶴岡市の高校で、外国人実習生による授業が行われました。やまがたグローバルイノベータ育成事業とは、県内企業で働くの外国人と交流し山形県の魅力の再発見と異文化への理解を深めるために今年から始まった取り組みで県内17の高校が対象です。きのうは、県立鶴岡工業高校に鶴岡市の機械部品製造会社のベトナム人実習生、ファン・ディン・トゥオンさんが訪れ授業を行ないました。



出典

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tuy/2216625?display=1>

# 山形市で不審な車両 警察の職務質問に4人が逃走 2人を不法滞在で逮捕 1人逃走中

2025.09.16

おととい、山形市で警察官に職務質問された際に逃げた外国人とみられる男は、現在も逃走しています。警察は男の行方を追うとともに、県民に注意を呼びかけています。これは、おととい午前6時ごろ山形市表蔵王の東北中央自動車道・山形上山インターチェンジ付近で、警察官が不審な車を停車させて職務質問をしようとしたところ、車に乗っていた男4人が走って逃げたものです。



出典

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tuy/2178073?display=1>